

分野横断型の新たな公共交通の導入(山梨県都留市)

教育×交通

事業実施主体

- 【共創プラットフォーム】 都留市地域公共交通活性化協議会
- 【実施主体】 都留市地域公共交通活性化協議会
- 【共創パートナー】 富士急バス株式会社 (交通)
富士急山梨ハイヤー株式会社 (交通)
公立大学法人都留文科大学 (教育) 他

地域課題

地域間輸送の基幹となる路線バスにて輸送人員、収支率ともに減少傾向にあることに加えて、運行経費の補填など、市の負担額が年々増加しており、将来的な公共交通網の確保に向けて抜本的な対策が求められている。

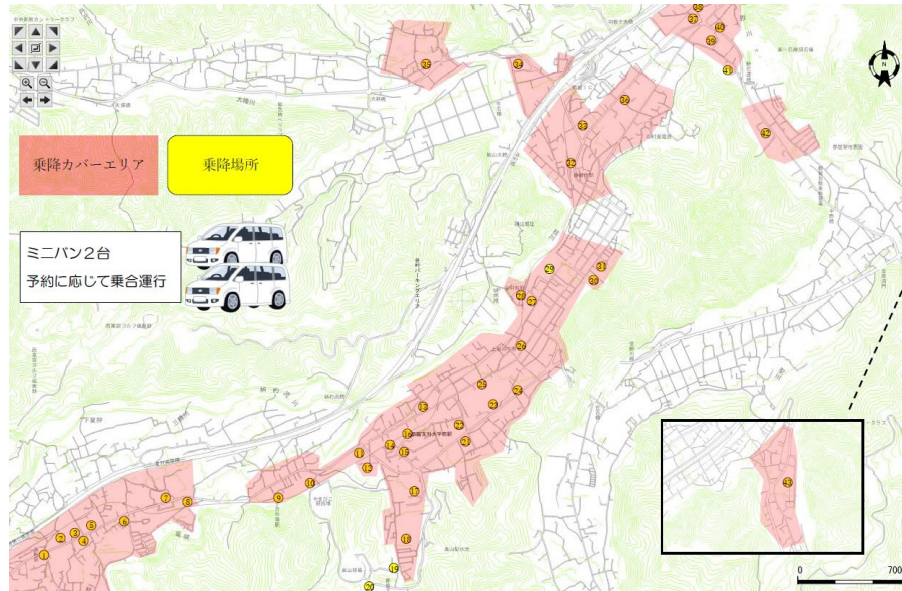
実証事業の内容

中心部エリアにおいて、AIデマンド交通を導入する。大学との連携による大学生利用の新規需要の開拓や、大学生や高齢者が中心部における回遊性向上に向け、新たな公共交通サービスとしての実証運行を実施する。

今後の展開

- ・ 実証実験で得たデータの分析を行い、本市への適合性、既存公共交通との比較、市民の移動ニーズへ応えられているか等を検証し、今後の公共交通のあり方について検討する。
- ・ 継続的な事業実施を検討する際には、費用調達方法として、将来的には都留市循環線に変わり、地域内フィーダー系統補助の活用等も検討する。
- ・ 様々な主体にとっての意義・メリットと、今後の地域公共交通の運行に関する負担・支援のあり方を検討する。

事業実施区域



都留市統合型GISシステムを基に作成

事業体制

